“ふるさとちば”のための政策推進を

たばた毅 田畑たけし県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町2番13号　電 話 043(227)7411

2月県議会予算委員会

浸水・災害廃棄物対策で防災に強い街づくりを

誰もが住みやすい街づくりを目指している田畑毅県議（茂原市・1期）は、2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、防災対策や医師確保について、長生の森公園整備事業や地域公共交通についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をただしました。その概要をお伝えします。

田畑議員　防災対策について伺う。**一宮川流域の河川整備について、一宮川上流域の令和8年度の整備予定はどうか。**

河川整備課長　一宮川の上流域では、現在、第三調節池の遮水工事を進めているところであり、令和8年度は、遮水工事に続いて、調節池の掘削工事や、本川上流区間及び三途川において、河川改修に必要な用地を取得する予定です。

田畑議員　**豊田川の下流区間の令和8年度の整備予定はどうか。**

河川整備課長　豊田川の下流では、約0．5キロメートルの堤防嵩上げのうち、約0．4キロメートルが完了しており、令和8年度は、亀齢橋において堤防機能を有する陸閘の整備などを予定しています。

田畑議員　**豊田川の上流区間の令和8年度の整備予定はどうか。**

河川整備課長　豊田川の上流では、河川の拡幅に必要な用地測量等が完了しており、令和8年度は、用地取得に着手する予定です。

田畑議員　**鶴枝川の令和8年度の整備予定はどうか。**

河川整備課長　鶴枝川では、事業区間における堤防嵩上げの設計が今年度中に、完了する見込みであり、令和8年度は、堤防嵩上げ工事の実施を予定しています。

要望　**浸水対策のための河川整備の一刻も早い完成に向けて、尽力するよう要望する。**

田畑議員　**災害廃棄物を迅速に処理するためには市町村の対応力を強化する必要があるが、県はどのような取組を行っているのか。**

循環型社会推進課長　県では、市町村等に対し、災害初動時のタイムラインに沿った具体的な対応事項や災害廃棄物仮置場の管理運営、住民向け広報に係る座学研修に加え、仮置場候補地で設置・搬入・撤去のシミュレーションを行う実地研修を実施しています。

また、市町村の仮置場候補地について、土地の形状や搬入搬出道路の整備状況などを踏まえ、仮置場としての実効性を点検するなど、災害廃棄物が迅速かつ適正に処理されるよう、市町村の対応力強化に取り組んでいます。

田畑議員　**災害廃棄物処理対応力強化事業では災害廃棄物処理計画の改定も行うとのことだが、改定状況はどうか。**

循環型社会推進課長　県では、国の点検ガイドラインや県内外の災害廃棄物対応を踏まえ、災害廃棄物処理計画を改定することとしており、今年度は、水害に伴い発生する廃棄物量の推計方法等の検討や、近年の災害対応における課題の調査・分析などを実施し、計画骨子案をとりまとめました。

今後、計画の具体化を進めるとともに、市町村が災害廃棄物処理計画を改定する際の支援ツールとして計画のひな型の検討を行うなど、令和8年度中の計画改定に向け取り組んでまいります。

田畑議員　**実際に災害が起きた際に、災害廃棄物を迅速に処理するため、県はどのような支援を行うのか。**

環境生活部長　県では、災害廃棄物処理業務が適正かつ円滑・迅速に進むよう、発災直後から市町村と連携を密にし、災害廃棄物の発生状況等に係る情報収集を行うとともに、必要に応じて職員を派遣し情報提供や仮置場の設置運営に関する助言などの技術的な支援を実施します。

また、平時から市町村間の協定や民間団体との協定を締結しており、発災後はこれらの協定に基づき、廃棄物やし尿の広域処理体制や公費解体業務の支援体制が機能するよう調整を行うなど、積極的に市町村の支援を行うこととしています。

要望　**災害廃棄物処理対応力強化事業における県と市町村の役割分担はどのようになっているか。運営訓練へ市町村の参加を強く呼びかけるよう要望する。**

防災対策課長　大規模災害時において、県では、被災市町村からの要請等に基づき、県内13か所の備蓄倉庫から物資を提供するほか、国や他の自治体、企業等からの支援物資の集積拠点を開設し、市町村の物資拠点等への迅速かつ円滑な輸送を行うこととしています。

市町村は、平時から物資の集積拠点を選定しておくとともに、災害時には備蓄物資や県等からの供給を受けた支援物資を、各避難所の避難者に届ける役割を担います。

医師確保で医療の充実を図れ

予算委員会で質問する田畑議員

田畑議員　医師確保について伺う。**医師少数県として、これまで、どのように医師確保に取り組んできたのか。**

医療整備課長　県では、県内外の大学医学部と連携して、医学部生に対し、卒業後に千葉県で医師として就業することを返還免除の条件とした修学資金を、平成21年度から令和8年2月までの累計で、756人に貸し付けてきました。

また、医師少数区域等への医師派遣を促進する財政支援を行うほか、県内外から研修医等を確保するために、若手医師や医学部生を対象としたセミナーを開催し、魅力的な研修環境を整えている病院のプログラムをわかりやすく周知することなど、様々な取組を講じてきたところです。

田畑議員　**医師修学資金貸付を受けた医師に対し、返還免除要件に沿った勤務とキャリア形成の両立を支援する必要があると思いますが、県ではどのような取組を行っているのか。**

医療整備課長　医師修学資金貸付制度の返還免除要件においては、医師少数区域での一定期間の勤務を義務付けているところです。

一方、医師が専門医を取得するためには、専門研修を実施している病院で勤務する必要があります。

県としては、修学資金を貸し付けた医師に対し、こうした病院での勤務を含むモデルコースを200以上用意したり、医師による個別相談が受けられる体制を構築することで、制度利用者が安心して、条件に沿った就業を継続できるよう、支援を行っているところです。

田畑議員　小児診療対応医師確保総合対策事業について伺う。**本県における小児医療の状況をどのように認識しているか。**

医療整備課長　本県の小児人口は減少傾向にありますが、減少のスピードについては、地域差があることから、その実情を踏まえた小児医療提供体制の確保が必要です。

県としては、体制の構築のためには、特に、小児科医の確保が必要であると認識しているところ、令和2年末時点の15歳未満人口当たりの医師数をベースに国が算定した小児科医の偏在指標では本県は全国最下位であり、引き続き小児科医の確保に取り組んでまいります。

要望　**安全、安心に暮らすためには、医療の充実を欠かすことはできない。そして医療の充実を、居住地域を決めるときの重要事項にする方も多数いらっしゃる。引き続き医師、医療施設の充実のために、御尽力していただくことを要望する。**

長生の森公園の施設整備を急げ

田畑議員　長生の森公園整備事業について伺う。**野球場の照明設備の整備状況はどうか。**

公園緑地課長　野球場の照明設備については、設計業務が完了し、まずは基礎工事について令和8年度に着手ができるよう、現在、発注手続きを進めているところです。

田畑議員　**照明設備の整備中における野球場利用者への影響はどうか。**

公園緑地課長　照明設備は、野球場の場外に設置することから、工事中においても、例年どおりの野球場の利用が可能と考えております。なお、工事中は、公園利用者の安全確保に努め、早期の供用を目指してまいります。

要望　**ナイター設備の早期供用に向けて尽力するとともに、サッカー場の整備についてもお願いする。**

持続可能な地域公共交通の実現に向けて

執行部の答弁を聴く田畑議員

田畑議員　地域公共交通「リ・デザイン」推進事業について伺う。**令和7年度の実績はどうか。**

地域公共交通担当課長　本年2月末時点で、補助事業については、コミュニティバスやデマンドタクシーの実証運行、路線バスの利用動向分析システムの導入など、17団体が実施する19件の事業に対し、合計で8，448万円の交付決定を行ったところです。

相談支援事業については、移動需要の把握に向けたアンケート調査の企画設計や、コミュニティバスのルート再編に向けた検討など、各団体が抱える課題や要望に応じて、専門的な知見を有するコンサルタントによる相談支援を13団体に対し実施しています。

田畑議員　**実績のうち、茂原市以南の県南部地域での状況はどうか。**

地域公共交通担当課長　茂原市以南の県南部地域において、補助事業については、君津市におけるコミュニティバスの再編や、富津市での公共ライドシェアの実証運行など、3団体に4件で計1，263万円の交付決定をしたところです。

相談支援事業については、4団体に対し、路線バスの乗降データ分析や、デマンドタクシーの実証運行に向けた実施案の検討などに関する支援を行っています。

田畑議員　**今後、どのように取り組んでいくのか。**

総合企画部長　相談支援事業について、多くの団体から活用意向が示されていることに加え、支援対象団体の状況に応じて、課題分析や企画立案をともに行うなど、一層寄り添った支援も行うため、来年度は、相談支援事業の予算を3千万円から4千万円に増額したところです。

今後も、市町村等の状況に応じて的確な支援を行うことで、持続可能な地域公共交通の実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。

要望　**地域の足の確保に向けて、本事業は非常に重要な取組である。さらに実効性を高めていけるよう、引き続き、改善を重ねながら、しっかりと取り組んでいただくよう要望する。**

市町村の産業用地整備に支援を

田畑議員　産業用地整備に係る市町村支援について伺う。**産業用地整備にあたって、市町村からの具体的な相談内容や立地企業補助金の活用状況はどうか。**

企業立地課長　市町村からの相談内容は多岐にわたっていますが、特に多くの相談が寄せられているのは、農地転用等の土地利用調整に関するものであり、産業用地整備における大きな課題の一つと認識しています。

立地企業補助金の活用状況ですが、活用に向けた協議については、産業用地整備を検討している全ての市町村と実施しており、今年度においては、事業可能性調査への補助については3市町、用地造成に伴うインフラ整備への補助については1市の事業計画の認定につながったところです。

田畑議員　**市町村の産業用地整備に係る土地利用規制などの課題に対して具体的にどのような支援を行っているのか。**

企業立地課長　市町村からの許認可手続きに関する相談に対し、庁内関係課で一元的に応じ、課題解決に向けた具体的なアドバイスを行うなど、土地利用調整に係る伴走支援を行っています。

また、来年度からは、産業の集積が見込まれる地域等において、適地選定調査も補助対象に追加することで、より早い段階から支援を行ってまいります。

要望　**引き続き市町村に対して、積極的な支援を行っていただくよう要望する。**

長生グリーンラインの進捗状況

田畑議員　長生グリーンラインについて伺う。**長生グリーンラインの進捗状況はどうか。**

道路整備課長　長生グリーンラインの県道茂原大多喜線から広域農道までの2．5キロメートル区間では、現在、用地取得率は約8割で、残る用地の取得や橋梁下部工事などを進めています。

また、それに続く一宮町までの5キロメートル区間では、全区間を対象に境界立会を進めているところです。

田畑議員　**長生グリーンラインの早期開通に向けて、令和8年度はどのように取り組んでいくのか。**

道路整備課長　令和8年度は、県道茂原大多喜線から広域農道までの区間で、用地取得や函渠工事などを進めるとともに、それに続く一宮町までの区間では、境界立会の結果を基に用地実測図を作成するなど、用地取得に向けた準備を進めていく予定です。

県としては、引き続き、地元の皆様の御理解御協力をいただきながら、早期の開通に向けて、事業を推進してまいります。

要望　**長生グリーンラインは、外房地域の発展に必要不可欠な道路である。**

まずは、県道茂原大多喜線から広域農道までの区間を一日も早く開通できるよう取り組んでいただくとともに、それに続く一宮町までの区間についても、一層の事業推進に努めていただくよう要望する。

田畑たけし・PROFILE

- ◆昭和43年10月18日生まれ
- ◆茂原南中、帝京高校（サッカー部）、帝京大学、米・カリフォルニアクレアモント・ピッツァ・カレッジ卒
- ◆製造業
- ◆千葉県商工会議所 青年部連合会 会長（H23）
- ◆茂原商工会議所 理事
- ◆茂原市議会議員 3期
- ◆茂原市議会 議会運営委員会 委員長
- ◆茂原市議会 副議長

●茂原（じもと）の声を県政へ届け実現させます
田畑たけし 県議会議員 事務所
〒297-0032 千葉県茂原市東茂原10　TEL.0475-25-7123